

平成 28 年

岩国市観光客動態調査
報 告 書

岩国市観光振興課

平成 28 年 岩国市観光アンケート調査

1 目 的

今後の観光行政をより効果的に推進していくための基礎的な資料として、岩国市を訪れる観光客の動向を把握するため、観光アンケート調査を実施した。

2 調査概要

◎調査対象

聞き取り調査（錦帯橋周辺に限る）岩国市来訪者

◎調査場所および調査日

来訪者への聞き取り調査（錦帯橋周辺）

＊平成 28 年 4 ～12 月（随時）

◎サンプル数(有効回答) 5, 4 7 6 人（昨年 6, 4 8 3 人）

調査方法

観光アンケート調査は岩国観光ガイドボランティア協会に依頼した。期間を通じて、団体、個人旅行とバランスよく聞き取り調査を実施し、サンプル数が 5, 0 0 0 人を目標に実施をしている。

設問1：来岩観光客の地域別割合

順位	平成27年		平成28年	
1	中国・四国	35.49%	中国・四国	35.41%
2	関東	20.70%	関東	21.79%
3	近畿	14.87%	九州	13.57%
4	九州	14.07%	近畿	12.97%
5	中部	10.06%	中部	9.53%
6	北海道・東北	3.13%	北海道・東北	3.83%
7	外国	1.68%	外国	2.90%
	無回答	0.00%	無回答	0.00%
	計	100.00%	計	100.00%

来県別ベスト10は ①広島 ②山口 ③東京 ④福岡 ⑤大阪 ⑥神奈川 ⑦岡山 ⑧愛知 ⑨兵庫 ⑩千葉

H27 ①広島 ②山口 ③東京 ④福岡 ⑤大阪 ⑥神奈川 ⑦兵庫 ⑧岡山 ⑨愛知 ⑩埼玉

地域区分

北海道・東北	北海道・青森・岩手・秋田・宮城・山形・福島
関東	茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨
中部	新潟・富山・石川・福井・長野・岐阜・静岡・愛知・三重
近畿	滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山
中国・四国	鳥取・島根・岡山・広島・山口・徳島・香川・愛媛・高知
九州	福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄
外国	アメリカ・台湾・中国・フランス・タイ・香港・ハンガリー・イギリス・オーストラリアなど29カ国

設問2：あなたの年齢は

順位	平成27年		平成28年	
1	60代以上	35.65%	60代	30.75%
2	50代	19.90%	50代	19.92%
3	30代	15.46%	40代	15.83%
4	40代	13.74%	30代	13.79%
5	20代	12.85%	20代	11.74%
6	10代	1.48%	70代以上	6.25%
7			10代	1.72%
	無回答	0.92%	無回答	0.00%
	計	100.00%	計	100.00%

来岩観光客の年齢割合は昨年に引き続き60代が1位、50代が2位となっている。

【参考】あなたの性別は

順位	平成27年		平成28年	
1	男	51.7%	男	54.9%
2	女	46.9%	女	45.1%
	無回答	1.4%	無回答	0.0%
	計	100.0%	計	100.0%

設問4：旅行先を決めるのに最も参考にしたものは

順位	平成27年		平成28年	
1	旅行雑誌・ガイドブック	24.27%	旅行雑誌・ガイドブック	25.60%
2	インターネット	21.05%	インターネット	17.75%
3	その他	19.41%	旅行代理店を通じて	13.81%
4	旅行代理店を通じて	13.06%	地元で知っていた	11.74%
5	友人の話	11.19%	その他	11.32%
6	テレビ・ラジオ	6.85%	友人の話	10.23%
7	パンフ・ポスター	3.79%	テレビ・ラジオ	7.34%
8			パンフ・ポスター	2.17%
	無回答	0.38%	無回答	0.04%
	計	100.00%	計	100.00%

インターネットの割合が昨年に比べ約3%減少しているものの、旅行雑誌・ガイドブックと並ぶプロセスとなっている。20代、30代においてはインターネットを閲覧して旅行先を決めた方が一番多く、旅行代理店を通じて決めた方は少ない。一方、60代以上においては、旅行代理店が多く、世代間で旅行先を決めるプロセスに違いがあることがよくわかる。

【参考】団体バスツアーの地域別台数

(岩国市観光協会：観光バス入り込み状況より)

順位	平成27年			平成28年		
1	関東	1,184台	23.17%	中国・四国	1,235台	23.70%
2	中国・四国	1,078台	21.10%	関東	1,220台	23.42%
3	九州	799台	15.64%	九州	906台	17.39%
4	近畿	749台	14.66%	中部	572台	10.98%
5	中部	585台	11.45%	外国	515台	9.89%
6	外国	425台	8.30%	近畿	470台	9.02%
7	北海道・東北	290台	5.68%	北海道・東北	292台	5.60%
	計	5,110台	100.00%	計	5,210台	100.00%

近畿地方の減少に対して、中国・四国、九州、外国が増えている。参考に、沖縄からのバスはH27は58台、H28は89台。

設問3：旅行企画の利用（新規）

順位	平成27年	平成28年	
1		旅行企画でない	82.45%
2		旅行企画（団体）	11.91%
3		旅行企画（個人）	5.64%
		無回答	0.00%
		計	100.00%

【参考】個人旅行世代別割合

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
旅行企画(個人)	83.0%	94.9%	91.9%	85.7%	80.2%	75.1%	73.1%	82.5%

80%以上が個人旅行であり、20代が一番多く年代が多いほどその割合は下がっていく傾向にある。

【参考】各世代における割合

手段	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
旅行雑誌・ガイドブック	7.5%	18.7%	21.7%	22.8%	31.0%	28.2%	29.5%	25.6%
インターネット	7.5%	28.2%	27.4%	21.6%	15.7%	12.2%	4.1%	17.8%
旅行代理店を通じて	14.9%	2.2%	5.4%	11.9%	16.0%	20.0%	21.6%	13.8%
地元で知っていた	17.0%	18.8%	15.2%	13.3%	9.6%	8.0%	10.8%	11.7%
その他	23.4%	12.4%	11.5%	9.6%	9.8%	11.1%	15.8%	11.3%
友人の話	18.1%	13.1%	10.3%	10.2%	8.5%	9.9%	9.7%	10.2%
テレビ・ラジオ	9.6%	4.5%	7.4%	8.3%	7.2%	8.2%	5.9%	7.3%
パンフ・ポスター	2.1%	2.2%	0.9%	2.3%	2.3%	2.5%	2.6%	2.2%
無回答								0.1%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

設問5：旅行の形態（同行者）は

順位	平成27年		平成28年	
1	家族	28.55%	夫婦・カップル	30.73%
2	夫婦・カップル	28.19%	家族	25.93%
3	友人	20.67%	友人	19.54%
4	ツアー	11.28%	独り旅	8.93%
5	その他	9.88%	友人(女子旅)	6.17%
6	修学旅行	0.77%	会社仲間	6.17%
7			その他	2.11%
8			修学旅行	0.42%
	無回答	0.66%	無回答	0.00%
	計	100.00%	計	100.00%

依然として、個人旅行の割合が多い。特に、夫婦・カップルや家族の割合が約半数を占めている。

設問7：岩国での宿泊は

順位	平成27年		平成28年	
1	泊まらない	90.64%	泊まらない	91.14%
2	泊まる	8.07%	泊まる	8.86%
	無回答	1.29%	無回答	0.00%
	計	100.00%	計	100.00%

【参考】宿泊状況世代別割合

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
泊まらない	90.4%	94.2%	92.7%	91.7%	89.2%	91.7%	84.2%	91.1%
泊まる	9.6%	5.8%	7.3%	8.3%	10.8%	8.3%	15.8%	8.9%

宿泊をしない割合が約90%を占めており、岩国は依然として通過型の観光地である。

設問9：岩国での使用金額

	平成27年		平成28年	
1	3,000円未満	40.74%	3,000円未満	47.08%
2	1,000円未満	27.63%	1,000円未満	21.69%
3	5,000円未満	18.46%	5,000円未満	21.18%
4	10,000円未満	6.43%	10,000円未満	7.29%
5	15,000円以上	2.08%	10,000円以上	2.76%
6	15,000円未満	4.37%		
	無回答	0.29%	無回答	0.00%
	計	100.00%	計	100.00%

【参考】観光消費状況世代別割合(未宿泊者のみ)

年代 時間	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
1000円未満	45.9%	23.9%	19.6%	20.5%	19.4%	26.2%	26.7%	23.1%
3000円未満	42.4%	55.6%	50.3%	47.4%	49.3%	47.4%	40.6%	48.7%
5000円未満	7.1%	16.5%	21.9%	22.5%	24.3%	17.6%	23.6%	20.3%
10000円未満	1.2%	3.3%	7.0%	8.3%	6.3%	7.0%	7.6%	6.6%
10000円以上	3.5%	0.7%	1.3%	1.3%	0.7%	1.9%	1.4%	1.3%

20代・30代が、滞在時間が比較的長い割には消費額が少ないことがわかる。

設問6：旅行に利用された交通機関は

順位	平成27年		平成28年	
1	乗用車（2輪含む）	51.70%	乗用車（2輪含む）	53.60%
2	列車	25.53%	鉄道（山陽本線）	14.19%
3	バス	11.86%	バス	11.69%
4	航空機	10.18%	鉄道（新幹線）	10.90%
5	その他	0.54%	航空機（岩国簡帯橋空港）	8.60%
6			その他	1.02%
	無回答	0.19%	無回答	0.00%
	計	100.00%	計	100.00%

依然として、乗用車の利用率が高い。
鉄道は、山陽本線が多いことから、宮島や広島からの観光客が多いことが想定される。

設問8：泊まらない人の滞在時間

順位	平成27年		平成28年	
1	1～2時間	43.21%	1～2時間	40.18%
2	2～4時間	40.69%	2～4時間	41.51%
3	4時間以上	5.37%	4時間以上	5.66%
4	1時間未満	3.76%	1時間未満	3.94%
	無回答	6.97%	無回答	8.71%
	計	100.00%	計	100.00%

【参考】滞在状況世代別割合

年代 時間	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
1時間未満	1.1%	3.9%	1.4%	3.9%	4.2%	6.0%	5.9%	3.9%
1～2時間	33.3%	40.6%	41.5%	42.0%	42.2%	49.4%	43.1%	40.2%
2～4時間	51.7%	47.5%	48.1%	47.8%	49.3%	39.7%	44.4%	41.5%
4時間以上	13.8%	7.9%	9.0%	6.3%	4.3%	4.9%	6.6%	5.7%
(空白)								8.7%

個人旅行の比率の高い20代・30代は他の世代に比べて滞在時間が長いことがわかる。
60代以上は団体旅行比率が高いことから、滞在時間も短い。

設問10：昼食を食べるか(新規)

順位	平成27年		平成28年	
1			食べる	57.47%
2			食べない	42.46%
			無回答	0.07%
			計	100.00%

【参考】昼食状況世代別割合

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
昼食食べる	51.1%	53.2%	56.3%	60.1%	63.7%	55.8%	51.8%	57.5%

20代・30代が、滞在時間が比較的長い割には昼食を食べていないことがわかる。
60代以上は団体旅行比率が高いことから、昼食を食べる割合が少ない。

設問11：錦帯橋以外で行った場所

順位	平成27年		平成28年	
1	白蛇神社・白蛇観覧所	34.38%	岩国シロヘビの館	31.55%
2	岩国城	26.01%	岩国城	25.24%
3	ロープウエー	24.65%	ロープウエー	25.08%
4	岩国徴古館・吉川史料館・岩国美術館	8.10%	特になし	5.02%
5	なし	4.97%	岩国徴古館	4.24%
6	宇野千代生家	0.67%	紅葉谷公園	3.74%
7	美川ムーバレー・とことこトレイン	0.53%	吉川史料館	1.86%
8	温泉	0.22%	岩国美術館	1.17%
9			宇野千代生家	0.73%
10			美川ムーバレー	0.44%
11			白蛇神社	0.33%
12			とことこトレイン	0.30%
13			温泉（雙津峡温泉）	0.19%
14			温泉（深谷峡温泉）	0.11%
	無回答	0.47%	無回答	0.00%
	合計	100.00%	合計	100.00%

岩国シロヘビの館が1位となっており、関心の高さがうかがえる。
また、美川ムーバレーやとことこトレイン、温泉など市北部への周遊が少ない。

設問12：岩国へ来る直前に立ち寄った観光地（これから行く）は

順位	平成27年				順位	平成28年	
	立ち寄った場所		これからいく場所				
1	自宅	45.23%	自宅	36.53%	1	宮島・広島	48.27%
2	宮島・広島	35.79%	宮島・広島	33.40%	2	山口県内	24.11%
3	山口県内	12.79%	山口県内	23.59%	3	九州	2.15%
4	九州	1.91%	山陰	2.01%	4	山陰	1.86%
5	その他	1.80%	その他	2.07%	5	四国	0.46%
6	山陰	1.64%	九州	1.58%	6	特になし	20.31%
7	四国	0.35%	四国	0.64%	7	その他	2.66%
	無回答	0.49%	無回答	0.18%		無回答	0.18%
	計	100.00%	計	100.00%		計	100.00%

宮島・広島が第1位となっており、広島との周遊客が多いことが分かる。また、特に無しが約20%を占めることから、自宅から来ることができる近場の観光客も多い。

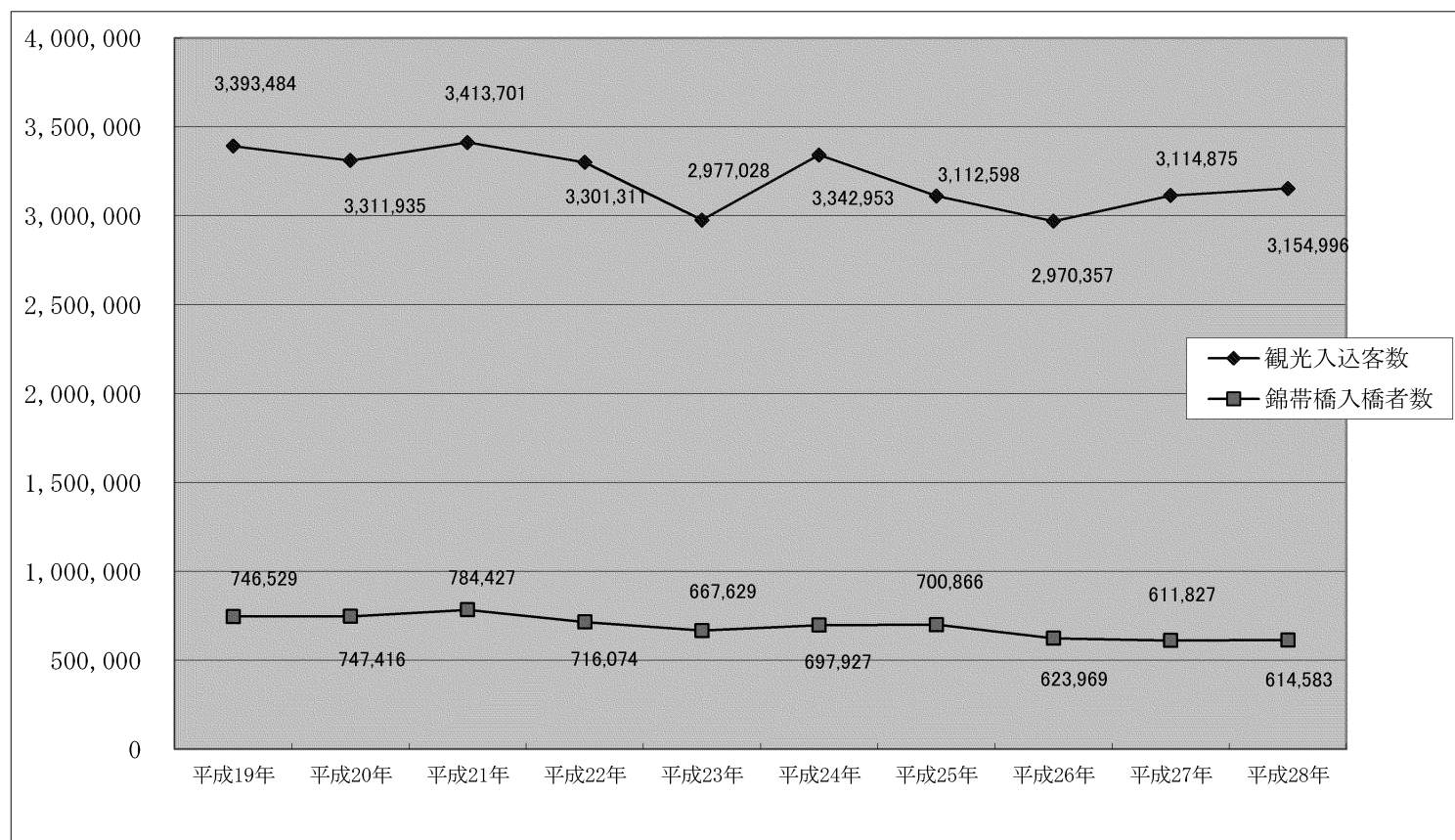
設問13：魅力向上のために必要なことは（新規） 設問14：来岩回数

順位	平成28年		順位	平成27年		平成28年	
1	その他	22.61%	1	初めて	64.94%	初めて	61.92%
2	トイレの洋式便器を増やす	16.22%	2	2回目	17.52%	2回目	20.11%
3	休息所を増やす	15.81%	3	4回目以上	8.88%	4回目以上	10.74%
4	分かりやすい観光看板の設置	15.04%	4	3回目	7.97%	3回目	7.20%
5	観光案内看板を増やす	6.49%		無回答	0.69%	無回答	0.03%
6	コンパクトなパンフレットの作成	7.09%					
7	トイレを清潔にする	6.01%					
8	駐車場を増やす	5.85%					
9	交通の便を良くする	4.85%					
	無回答	0.03%					
	計	100.00%		計	100.00%	計	100.00%

「初めて」が約60%を占める。満足度を向上させることにより、更なるリピーター創出の可能性はある。

トイレの洋式化、休息所、観光看板などの充実により、更なる観光客の満足度の向上が見込まれる。

岩国市の観光入込客数と錦帯橋入橋者数の推移（過去10年間）



	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
観光入込客数	3,393,484	3,311,935	3,413,701	3,301,311	2,977,028	3,342,953	3,112,598	2,970,357	3,114,875	3,154,996
錦帯橋入橋者数	746,529	747,416	784,427	716,074	667,629	697,927	700,866	623,969	611,827	614,583

※平成23年3月11日東日本大震災発生。6月19日高速道路ETC割引廃止。

※平成24年12月14日岩国錦帯橋空港開港

※平成25年8月1日貸切バスの交替運転者の配置基準改正

過去３年間の錦帯橋入橋者数（月別）

（単位：人）

年・月	平成26年	平成27年		平成28年	
			対前年比		対前年比
１月	40,247	30,756	76.4%	33,107	107.6%
２月	31,464	34,102	108.4%	28,832	84.5%
３月	57,520	57,362	99.7%	58,665	102.3%
４月	71,611	63,537	88.7%	74,854	117.8%
５月	71,011	68,952	97.1%	62,145	90.1%
６月	38,691	38,825	100.3%	35,625	91.8%
７月	40,053	36,640	91.5%	45,064	123.0%
８月	62,856	64,608	102.8%	71,029	109.9%
９月	49,218	59,838	121.6%	38,354	64.1%
１０月	45,045	47,949	106.4%	52,224	108.9%
１１月	76,235	66,447	87.2%	68,597	103.2%
１２月	40,018	42,811	107.0%	46,087	107.7%
合　計	623,969	611,827	98.1%	614,583	100.5%

平成 28 年の観光動向について

平成 28 年の岩国市全体の観光入込客数は、前年から約 4 万人増加し、3,154,996 人（前年比約 1.3%増）となり、昨年に引き続き 300 万人を上回りました。

岩国市の観光入込客数の指標となる錦帯橋の年間入橋者数については、614,583 人（前年比約 0.5%増）となりました。今年は前年のゴールデンウィーク、シルバーウィークなどの連休が短く、前年を下回っている月もありますが、4 月の桜シーズンの増加もあり、全体的には堅調に推移しました。

錦帯橋を訪れた観光バスは 5,210 台（前年比約 2%増）となり、平成 25 年のバス規制から一貫して減少していた観光バス台数は、回復の兆しを見せています。

また、岩国城ロープウエーや岩国城の入込客数についても、前年比約 5%の増加となっており、錦帯橋だけでなく岩国城ロープウエーや岩国城も楽しむ観光客が増えており、近年の積極的な観光 P R により滞在時間の延長に繋がっていると考えられます。

特筆すべき点としては、外国人観光客の大幅な増加が挙げられ、60,794 人（前年比約 59%増）が訪れております。これは、近年実施している宮島に訪れる外国人への観光 P R や山口県と連携して実施しているインバウンド事業などの効果により、錦帯橋の認知度が高まったと考えられます。

次に、アンケート調査結果による平成 28 年の傾向についてですが、設問 1 の「来岩観光客の地域別割合」では、外国人の比率が 1.2%増加しており、錦帯橋を訪れた外国人観光客の観光バスも近畿地方を上回る台数になっていることから、外国人観光客の大幅な増加がうかがえます。

また、平成 28 年 3 月から岩国錦帯橋空港に沖縄便が就航したこともあり、沖縄からのバスが 89 台（前年比約 53%増）となり、新規就航の効果を見ることができます。

設問 3 の「旅行企画の利用」では、約 80%の方が個人旅行で岩国に訪れており、若年層ほどその傾向が強いことがわかります。

設問 8 からは、個人旅行の割合が高い 20 代・30 代が他の世代に比べて滞在時間が長いことがわかりますが、設問 7・9・10 では、20 代・30 代の宿泊や昼食の観

光消費額が少ないことがわかります。

このようなことから、時間にゆとりがある個人旅行が主流となった今日においては、若年世代も含め、体験メニューなどの魅力ある観光コンテンツを増やし、それたのをホームページやSNSなどで効果的に発信することで、滞在時間や観光消費の増大が図られるのではと考えられます。

平成 29 年の観光について

平成 29 年は、山口県と県下市町が J R 6 社と連携し「幕末維新やまぐちデザインレーションキャンペーン」を 9 月～12 月に実施いたします。

当キャンペーンでは、岩国ならではの企画として、幕末維新にスポットを当てた吉川史料館の特別企画展示をはじめ、地酒舟や岩国藩鉄砲隊の特別演武、また、今年 3 月オープンした岩国市観光交流所「本家 松がね」内での甲冑体験、篆刻体験、錦川清流線での利き酒列車などを行うこととしており、体験型観光コンテンツを充実させることで、若い世代の誘客も積極的に図ってまいります。

また、情報発信としては、ホームページや S N S などでも広く周知するとともに、山口県と共同で P R イベントを関西や九州の各都市において実施することとしており、当キャンペーン期間における観光誘客に積極的に取り組んでまいります。

昨年、大きな増加が見られた外国人観光客の誘客に関しては、アジアの旅行業者を中心に様々な機会を通じて岩国の魅力や広島・宮島へのアクセスの良さを P R していくこととしているほか、お越しいただいた外国人観光客には、ストレスなく岩国の観光を楽しんでいただけるよう、錦帯橋周辺における案内看板の多言語化やフリー W i - F i 環境の更なる整備を進めてまいります。

こうした施策のほか、平成 27 年に設立した岩国観光プロモーション戦略協議会では、岩国市観光協会と連携し、錦帯橋のう飼における「ゆかた D A Y」の開催や、昨年に引き続き、温泉巡りパスポートの販売など、魅力ある新たなメニューの増加に努めております。

今後におきましては、日本人観光客だけでなく、外国人観光客も楽しんでもらえるよう、岩国観光プロモーション戦略協議会をはじめ、各観光協会や商工会議所、商工会などの観光諸団体と連携しながら、更なる観光誘客と滞在時間の延長、観光消費の増大などを図ってまいります。